

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	こだま
住 所	岡山県岡山市北区奉還町2-4-13
電話番号	(086) 252-7555

事業所番号	3310104025
管理者名	村田 雅洋
対象年度	令和2年度

## 地域連携活動の概要

<活動内容>	<活動の様子>
<p>岡山済生会外来センター病院と岡山済生会総合病院の職員食堂にて、1月19日、28日、2月16日、3月26日、30日に、当事業所で生産したパンと、同法人の系列事業所が生産したクッキー・ラスクを病院の職員向けに販売した。(11:30~13:30) 利用者(パン製造・販売担当)は各販売時に1~2名がそれぞれ参加した。</p>	 <p>3月30日、岡山済生会総合病院職員食堂内での販売風景。(パン、クッキーとラスクを販売) 多くの職員さんがお買い求め下さり、当事業所の利用者(写真左)もやりがいを持って臨んでいる。この日は21,780円の売上となった。</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>社会福祉法人恩賜財団済生会 支部岡山県済生会から当事業所へ申し出があり、当法人と当事業所が覚書を交わした上で令和3年1月に活動を開始した。</p> <p>病院にとっては、当法人が掲げる「人が、人としての尊厳を保ちながら、身近な地域で自立した生活が営めるように支援します」の理念に沿った活動を社会貢献として支援するとともに、職員の福利厚生ともなる。</p> <p>当事業所の利用者にとっては、地域に根ざす病院の職員に販売できる機会を設けてもらうことで、地域で働く職員に存在を知ってもらうとともに、業務の励みとなる。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>病院の職員にとっては、障がいのある利用者の販売活動に協力するということが社会貢献となっている。また、仕事の合間の楽しみの一つとして購入して頂いている。</p> <p>当事業所にとっては、1回の販売で1~4万円ほどの売り上げがあり、収益に貢献しているとともに、利用者のモチベーション向上につながっている。</p> <p>課題点としては、新型コロナウイルス感染症の拡がりの中、外部の者が病院の中で販売することに警戒感を持つ方もいるため、より一層の感染防止対策が必要となる。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

<p>商品についてはおいしく、安全なので安心して買い求めることができる。販売については、障がい者の方が一生懸命に販売しているので、協力したい気持ちとなる。今後も頑張って続けていただきたい。</p> <p>お昼時の販売なので、もう少しパン類を増やしていただければと思う。</p> <p>新型コロナウイルスの感染のことも心配される人がいる。食堂では(感染防止のため)黙食をすることとなっており、あまり大人数での販売や大声は、心配する人が出るかもしれない。新型コロナウイルス感染防止には十分気をつけながら、これからも販売を継続していただきたい。</p>			
連携先企業名	社会福祉法人恩賜財団済生会 支部岡山県済生会	担当者名	仲田 泰人